

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 5月 17日

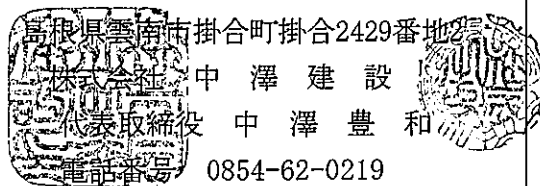
島根県知事 丸山 達也 殿



提出者

住 所

氏 名



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 中澤建設
事業場の所在地	島根県雲南市掛合町掛合2429番地2
計画期間	令和 ⁵ 4 年4月1日～令和 ⁶ 5 年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	6億9千万円
③従業員数	21人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場発生廃棄物→運搬（自社及び委託）→中間処理施設 →最終処分場

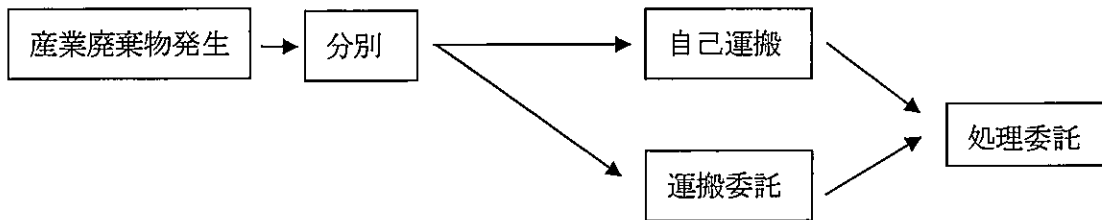
(日本工業規格 A列4番)

○

○

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類
	排 出 量	2914.15t	474.96t	45.75t
	（これまでに実施した取組） 資材の保管状況などを確認 使用量の最適化 再使用の推進 その他産業廃棄物 紙くず6.06t・ガラスくず等24.6t・廃石膏ボード50.75t・金属くず7.17t・ 繊維くず0.11t・混合廃棄物24.44t・水銀0.1t			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類
	排 出 量	551.00t	353.00t	15.00t
	（今後実施する予定の取組） 上記の内容の継続実施 資材の保管状況を共有 再使用可能なものの優先的使用 その他産業廃棄物 紙くず3.0t・ガラスくず等15.0t・廃石膏ボード35.0t・金属くず5.0t・ 繊維くず0.5t・混合廃棄物7.0t・水銀0.5t			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現場ごとに分別を行っている。石綿含有産業廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないよう分別を実施している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記の内容を実施予定

○

○

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実施していない			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 実施予定なし			

O

O

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	全品目	
	全 処 理 委 託 量	3 5 4 8 . 0 9 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	2 0 9 1 . 4 3 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 4 5 6 . 6 6 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施。		

○

○

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	全品目	
	全処理委託量	985.00 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	546.50 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	438.50 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用が可能である廃棄物は、再生処理業者へ処理委託する。 可能な限り優良認定処理業者から選定する。		
※事務処理欄			

O

O

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

O

O

産業廃棄物処理計画内訳表

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況											
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量 (t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後の再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した 後再生入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委託先による区分	
名 称											⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬優良認定処理業者 への処理委託量(t)
がれき類		551.00								551.00	200.00		351.00
紙くず		3.00								3.00	1.50		1.50
ガラスくず等		15.00								15.00	10.00		5.00
木くず		353.00								353.00	190.00		163.00
金属くず		5.00								5.00	1.00		4.00
廃石膏ボード		35.00								35.00	20.00		15.00
廃プラスチック類		15.00								15.00	10.00		5.00
混合廃棄物		7.00								7.00	5.00		2.00
繊維くず		0.50								0.50	0.50		
水銀		0.50								0.50	0.50		
合計		985.00								985.00	438.50		546.50

○

○